



chat noir chat blanc

Un film d'Emir Kusturica

Réalisation Emir Kusturica

Scénario Gordan Mihic

Directeur de la photographie Thierry Arbogast

Chef décorateur Milenko Jeremic

Musique Nelle Karajlic, Vojislav Aralica, Dejan Sparavalo

Montage Svetolik Mica Zajc, Mirjana Kicovic

Production Ciby 2000, Pandora Film, Komuna et France 2 Cinéma



1998年ヴェネチア国際映画祭獅子賞最優秀監督賞受賞

今年いちばん笑える映画！ 開き直った“喜劇作家”クストリツァは凄いのだ。

——ミルクマン斎藤 (groovisions)

現代映画界屈指のシネアスト、クストリツァ。ことに前作『アンダーグラウンド』が90年代を代表する巨大な作品であるのは異論がないけれど、芸術論も洒落っ気も欠如した社会派評論家どもにウンザリした彼は、この『アンダーグラウンド』での2度目のカンヌ映画祭パルムドール大賞受賞後とつぜん監督業引退を宣言、世界をズッコケさせたのだった。

あれから3年。クストリツァは帰ってきた。予想通り(でしょ?)。それも開き直ったような一大スラプスティック・コメディを引っさげて!! もともと僕は彼こそ現代最高のコメディ作家とみなしてゐるんだが、こりゃもはや深読みも暗喩も無効にしまう徹底したドタバタ劇。スーダラ親子と堅気の祖父、「カサブランカ」狂のゴッドファーザー、ボーイッシュでキュートな酒場娘としっかりばあちゃん、脳天気で狡猾な新興ヤクザ&大量のガチョウ、豚、馬、猫たちが、美しきドナウの岸辺でシッチャカメッチャカ。混乱を煽りに煽るジブシー音楽とテクノと「ストリート・オブ・ファイヤー」!

出演者はほとんどが演技経験ゼロの本物ジブシー。制御の効かない彼らはリテイクするたびに違う演技を平気で繰り返し、おかげで撮影予定は大幅に延びたというけれど、そんな現場の混乱を感じさせぬシンプルなる構成が美しい。いやいや、恐るべきカオスとバワフルさは2時間維持されたままなんだが、映像と作劇のテクニク=沈着冷静な交通整理がそう感じさせるわけ。とにかく終始笑っぱなし、ウェットなところなんて微塵もないのに幸福感のあまりジワッと涙腺とえ刺激されるという、ひょっとすればオールタイム・ベストものの傑作なのだ!



黒猫・白猫

エミール・クストリツァ監督作品

脚本:ゴルダン・ミッチー◎撮影:ティエリー・アルボガスト◎音楽:“ドクトル”・ネレ・カラリチ、ヴォイスラフ・アラリカ、デーシャン・スバヴァ
ロ◎編集&サウンド・デザイン:スヴェトリク・ミカザイチ
マトウコ・デスタノフ:“ドクロー・コリヤ”バイラム・セヴェルジャン◎
ダダン:スルジャン・トロヴィッチ◎イダ:ブランカ・カティチ◎ザレ・
スタノフ:フロリアン・アイディニ◎シューイカ:リュビツァ・アジョヴィ
ツチ◎“ゴッドファーザー”グルガ・ベティチ:サブリ・スレイマーニ

1998年/フランス・ドイツ・ユーゴスラビア合作・ユーゴスラビア映画/2時間10分/カラー作品
共同提供=フランス映画社+日本ビクター+テレビ東京/配給=フランス映画社

9月4日(土) ロードショー

HEPナビオ7F 06-6313-1318

ナビオシネ

連日-11:05/1:30/4:05/6:40 (各回定員・入替制)

[ポスター付・特別前売券]

好評発売中!!

一般1600円 ペア券(お二人で) 3000円

*ポスター付前売鑑賞券は、劇場窓口、
三番街シネマ、南街会館、京宝会館、
京極東宝の各劇場窓口でのみ販売。